

# 月例統計報告（令和4年2月）

令和4年2月28日  
企画振興部

<b>1 秋田県の人口</b> （秋田県の人口と世帯(月報)（令和4年2月1日現在））	1
本県の総人口は、940,409人（男 443,866人 女 496,543人）	
前月に比べ、1,339人（0.14%）減少	
自然増減 1,227人の減少（出生者 359人 死亡者 1,586人）	
社会増減 112人の減少（県内への転入者 558人 県外への転出者 670人）	
この1年間では、14,749人（1.54%）の減少	
<b>2 秋田県経済の動き</b>	
<b>(1) 製造業の生産動向</b> （鉱工業生産指数月報（令和3年12月分））	2
秋田県鉱工業生産指数（平成27年=100）	
季節調整済指数 105.2 : 前月比 2.9%上昇（3か月ぶりに上昇）	
原指数 113.7 : 前年同月比 8.7%上昇	
全国の鉱工業生産指数（平成27年=100）	
季節調整済指数 96.5 : 前月比 1.0%下降	
<b>(2) 雇用・労働情勢</b> （毎月勤労統計調査地方調査結果速報（令和3年12月分））	3
賃金、労働時間及び雇用の動き〔事業所規模5人以上〕 対前年比（前月比）は指数により算出	
現金給与総額 481,749円 : 前月比 99.6%増、前年同月比 5.6%増	
総実労働時間 150.0時間 : 前月比 1.1%減、前年同月比 1.4%増	
常用雇用指数 98.0（平成27年=100）	
: 前月比 0.3%下降、前年同月比 0.6%下降	
<b>(3) 物価動向</b> （消費者物価指数（令和3年12月分））	4
秋田市消費者物価指数 101.1（2020年=100）	
前月比 0.2%下降、前年同月比 1.9%上昇	
全国の消費者物価指数 100.1（2020年=100）	
前月比 0.1%上昇、前年同月比 0.8%上昇	
<b>(4) 景気動向</b> （秋田県景気動向指数（令和3年12月分））	5
先行指数 119.9 前月を 1.6ポイント上回り、3か月連続で上昇	
一致指数 80.0 前月を 4.2ポイント上回り、2か月ぶりに上昇	
遅行指数 98.5 前月を 1.4ポイント下回り、2か月ぶりに下降	
<b>3 景況ダイジェスト（県内・東北・全国）</b>	6~7

1 秋田県の人口(「秋田県の人口と世帯(月報) (令和4年2月1日現在)」)

(1) 令和4年2月1日現在の県の総人口は 940,409人(男 443,866人 女 496,543人)となり、前月に比べ 1,339人(0.14%)の減少となった。

自然増減 1,227人の減少(出生者 359人 死亡者 1,586人)

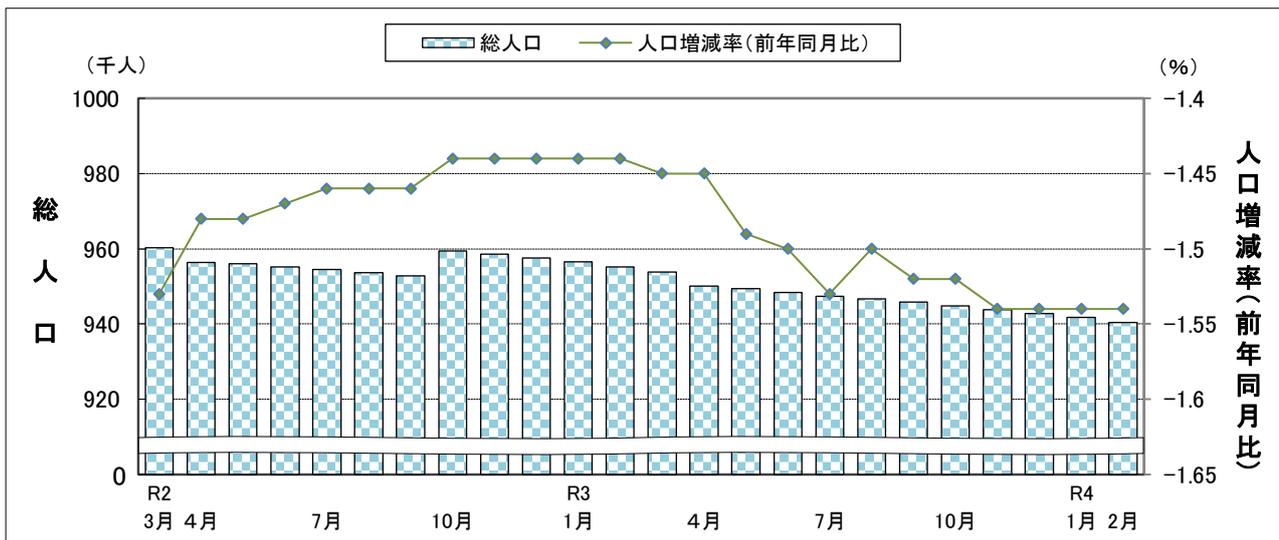
社会増減 112人の減少(県内への転入者 558人 県外への転出者 670人)

(2) この1年間では、14,749人(1.54%)の減少となった。

自然増減 11,651人の減少(出生者 4,381人 死亡者 16,032人)

社会増減 3,098人の減少(県内への転入者 11,432人 県外への転出者 14,530人)

(3) 世帯数は 384,998世帯となり、前月に比べ 362世帯の減少となった。



※令和2年10月の総人口は国勢調査確定値である。

○自然増減と社会増減の推移

年月	自然増減			社会増減			人口増減 =自然増減 +社会増減
	出生 (人)	死亡 (人)	自然増減 (人)	転入 (人)	転出 (人)	社会増減 (人)	
R3(2021)年1月	340	1,595	-1,255	555	603	-48	-1,303
R3(2021)年2月	286	1,294	-1,008	594	867	-273	-1,281
〃 3月	365	1,457	-1,092	2,481	5,255	-2,774	-3,866
〃 4月	401	1,332	-931	2,008	1,757	251	-680
〃 5月	385	1,328	-943	744	751	-7	-950
〃 6月	349	1,179	-830	669	868	-199	-1,029
〃 7月	422	1,189	-767	911	732	179	-588
〃 8月	373	1,299	-926	717	711	6	-920
〃 9月	350	1,286	-936	786	820	-34	-970
〃 10月	346	1,356	-1,010	732	780	-48	-1,058
〃 11月	398	1,383	-985	684	705	-21	-1,006
〃 12月	347	1,343	-996	548	614	-66	-1,062
R4(2022)年1月	359	1,586	-1,227	558	670	-112	-1,339
直近1年間の累計 (R3.2~R4.1)	4,381	16,032	-11,651	11,432	14,530	-3,098	-14,749

(参考)

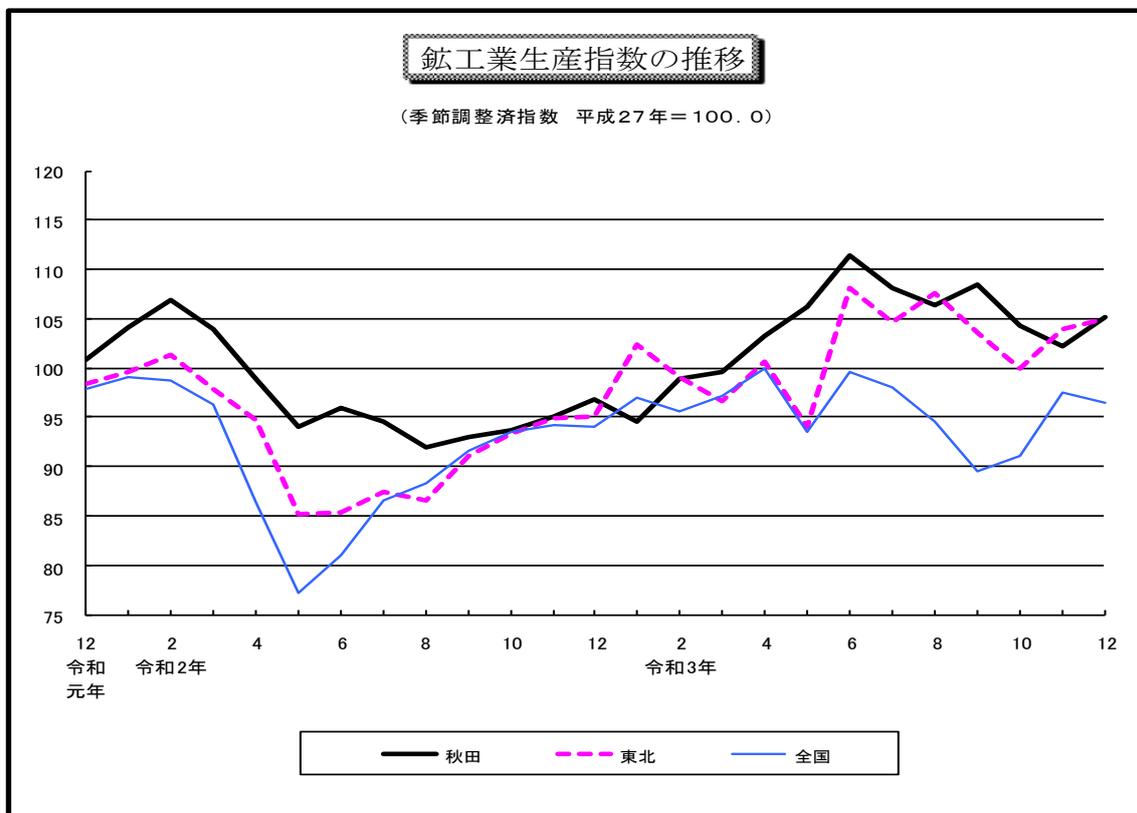
R2.2~R3.1の累計	4,472	15,481	-11,009	11,601	14,435	-2,834	-13,843
--------------	-------	--------	---------	--------	--------	--------	---------

## 2 秋田県経済の動き

### (1) 製造業の生産動向(「秋田県鉱工業生産指数月報(令和3年12月分)」)

令和3年12月の秋田県鉱工業生産指数は、季節調整済指数が105.2(前月比2.9%増)となり、3か月ぶりに上昇した。また、原指数は113.7となり、前年同月と比べ8.7%の上昇となった。

なお、全国の季節調整済指数は96.5となり、前月比で1.0%の低下となった。また、東北は104.9となり、前月比で1.0%の上昇となった。



### ○主な増減要因(季節調整済指数 平成27年=100.0)

業種名	指数値	前月比(%)	主な品目名
<b>□上昇した主な業種</b>			
生産用機械工業	133.7	68.0	その他の特殊産業用機械
化学工業	138.7	22.0	医薬品原薬
電気・情報通信機械工業	138.2	112.3	LED器具
<b>□低下した主な業種</b>			
鉄鋼・非鉄金属工業	58.6	▲ 32.6	電気金
窯業・土石製品工業	78.2	▲ 18.5	光学用ガラス素地
金属製品工業	77.4	▲ 12.6	配管工事用附属品

※影響度の大きい順に並べたものである。

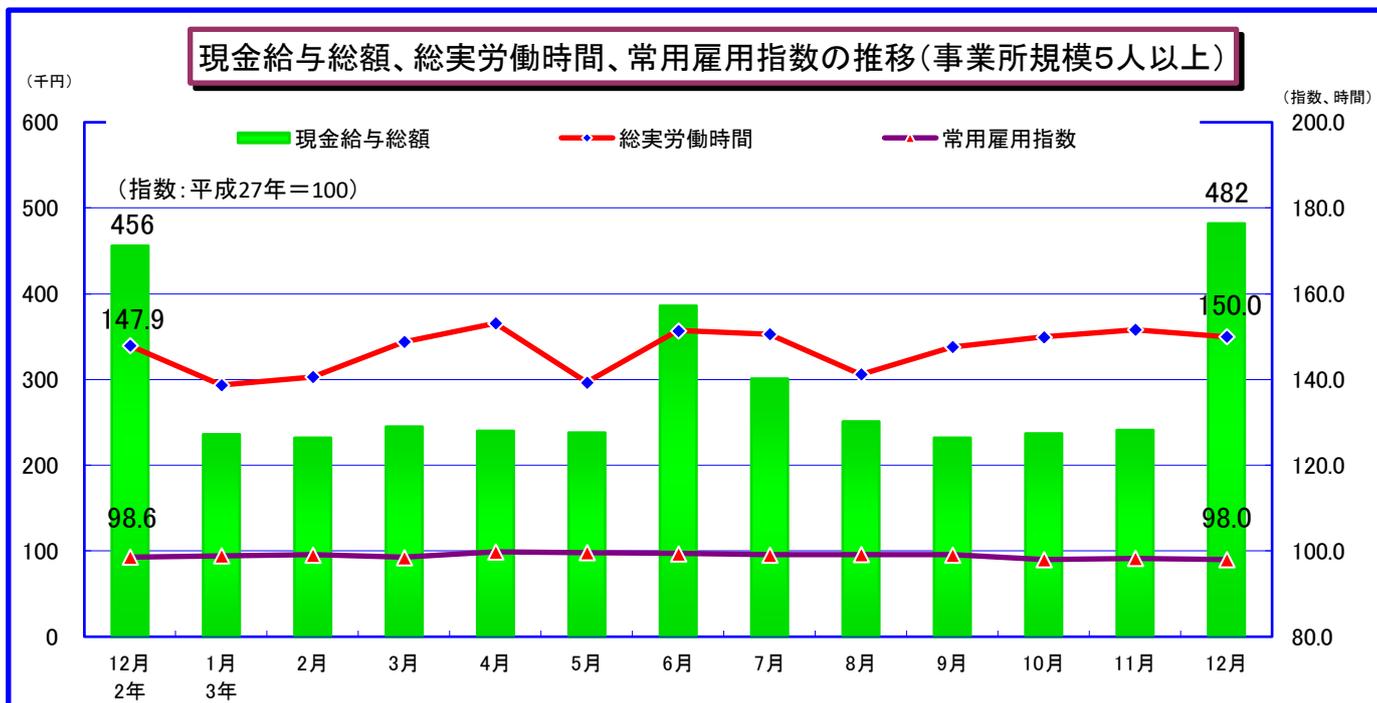
(2) 雇用・労働情勢(「毎月勤労統計調査地方調査結果速報(令和3年12月分)」)

(※賃金、労働時間及び雇用の動き〔事業所規模5人以上〕 対前年比(前月比)は指数により算出)

令和3年12月の現金給与総額は481,749円となり、前月比で99.6%の増、前年同月と比べ5.6%の増となった。

総実労働時間数は150.0時間となり、前月比で1.1%の減、前年同月と比べ1.4%の増となった。

常用雇用指数は98.0となり、前月比で0.3%の下降、前年同月と比べ0.6%の下降となった。



○産業別動向(事業所規模 5人以上)

1 現金給与総額

増加した産業(上位3つ)	金額(円)	前年比(%)
情報通信業	778,516	19.8
運輸業、郵便業	550,227	15.8
製造業	508,603	14.0
減少した産業(上位3つ)	金額(円)	前年比(%)
学術研究、専門・技術サービス業	508,062	▲ 21.2
金融業、保険業	809,215	▲ 12.6
サービス業(他に分類されないもの)	292,023	▲ 8.8

2 総実労働時間

増加した産業(上位3つ)	時間	前年比(%)
生活関連サービス業、娯楽業	147.3	6.6
製造業	164.5	5.8
情報通信業	166.8	4.1
減少した産業(上位3つ)	時間	前年比(%)
学術研究、専門・技術サービス業	147.1	▲ 7.1
建設業	160.4	▲ 5.4
教育、学習支援業	134.4	▲ 3.6

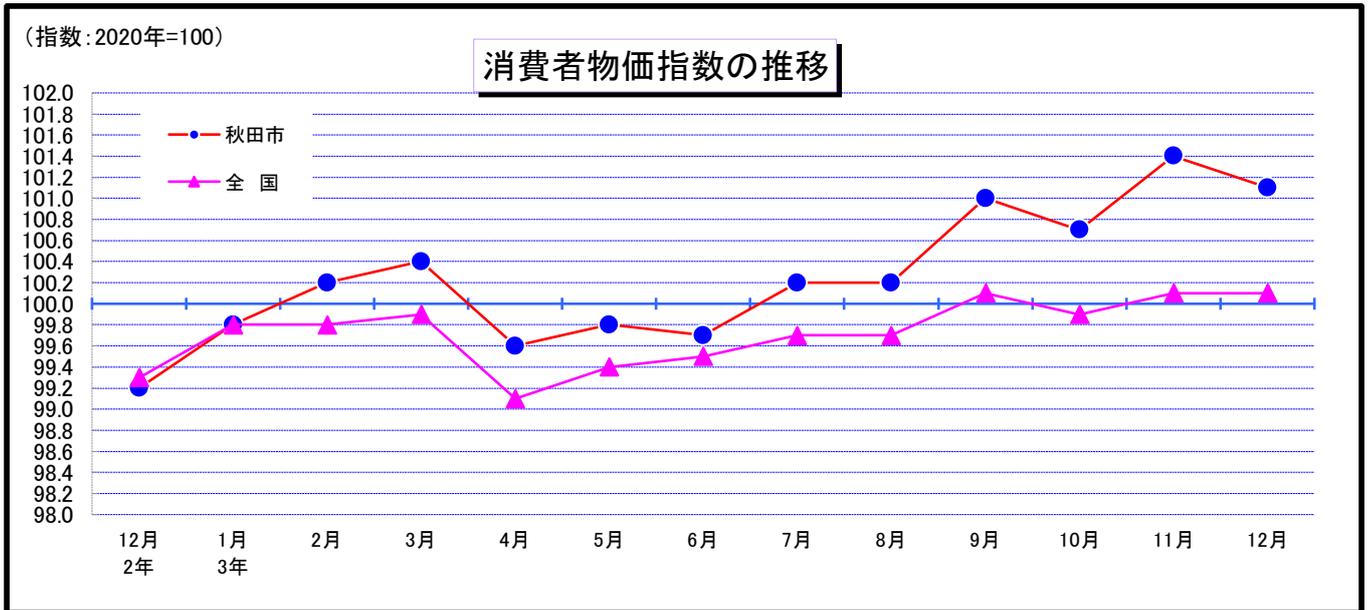
3 常用雇用指数

増加した産業(上位3つ)	指数	前年比(%)
生活関連サービス業、娯楽業	115.6	3.9
情報通信業	147.3	2.2
医療、福祉	101.7	2.2
減少した産業(上位3つ)	指数	前年比(%)
宿泊業、飲食サービス業	87.1	▲ 8.1
複合サービス事業	87.9	▲ 7.4
金融業、保険業	83.3	▲ 7.2

(3) 物価動向(「消費者物価指数(令和3年12月分)」)

令和3年12月の秋田市消費者物価指数は101.1(2020年=100)となり、前月比で0.2%の下落、前年同月比で1.9%の上昇となった。

なお、全国の消費者物価指数は100.1となり、前月比(季節調整値)で0.1%の上昇、前年同月比で0.8%の上昇となった。



10大費目指数の動き(2020年=100):秋田市

	総合	食料			住居	光熱・水道	家具・家事用品	被服及び履物	保健医療	交通・通信	教育	教養娯楽	諸雑費			
		生鮮食品を除く総合	生鮮食品及びエネルギーを除く総合	食料(酒類を除く)及びエネルギーを除く総合										生鮮食品	生鮮食品を除く食料	
当月指数	101.1	101.0	99.6	98.8	102.1	103.2	101.8	101.6	109.8	103.8	102.5	99.2	92.4	99.8	103.0	101.7
前月比(%)	-0.2	-0.4	-0.2	-0.2	0.1	2.7	-0.4	0.1	-0.1	-2.3	-1.5	-0.1	-1.2	0.0	0.3	0.1
前年同月比(%)	1.9	1.4	-0.2	-0.9	3.4	12.1	1.6	1.8	13.0	1.5	1.9	0.0	-7.8	0.9	6.0	1.3

総合指数の前年同月比に寄与した主な内訳

〔上昇〕

10大費目	中分類	前年同月比	寄与度
光熱・水道	他の光熱	35.0	0.52
食料	生鮮魚介	16.3	0.22
教養娯楽	教養娯楽サービス	10.0	0.49

〔下落〕

10大費目	中分類	前年同月比	寄与度
交通・通信	通信	▲33.3	▲1.65

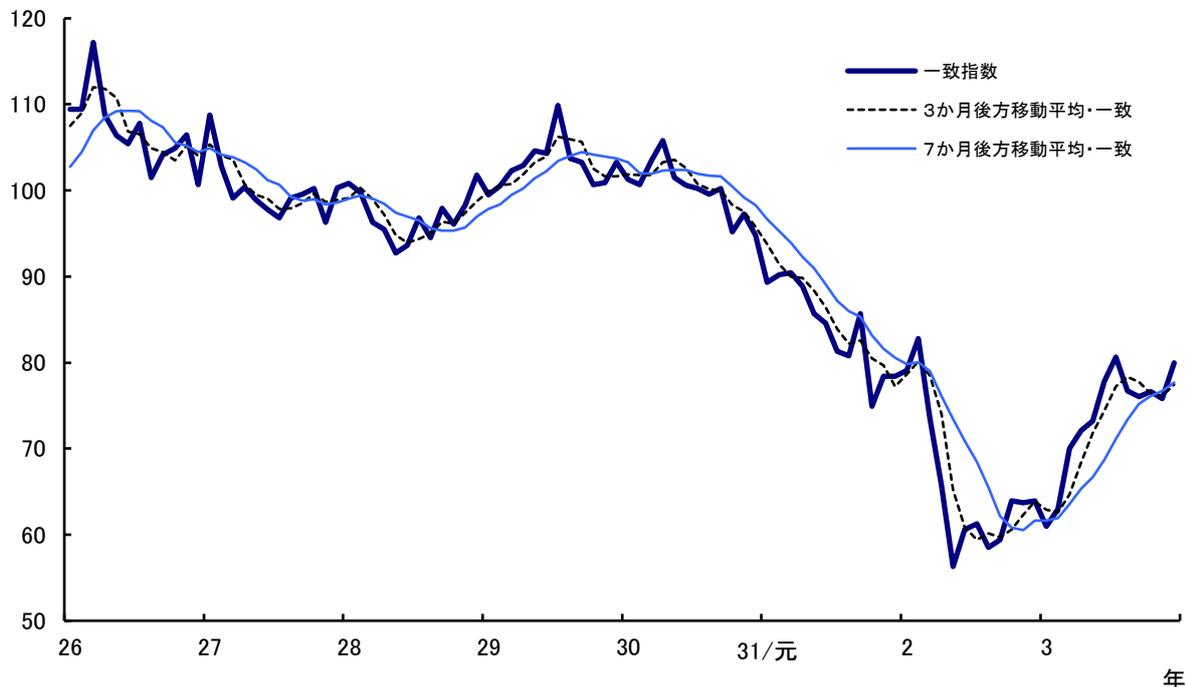
※寄与度とは、その費目が総合指数の変化率のうち何ポイント寄与したかを示すものである。

(4) 景気動向 (「秋田県景気動向指数(令和3年12月分)」)

先行指数 119.9 前月を 1.6<sup>°</sup> イト上回り、3か月連続で上昇した。  
 一致指数 80.0 前月を 4.2<sup>°</sup> イト上回り、2か月ぶりに上昇した。  
 遅行指数 98.5 前月を 1.4<sup>°</sup> イト下回り、2か月ぶりに下降した。

一致指数のグラフ

(平成27年=100)



○一致指数採用指標の前月比較

指 標 名	前月	今月	対前月増減	寄与度
有効求人倍率(倍)	1.43	1.40	-0.03	-1.30
雇用保険受給者実人員(逆)(%)	-14.3	-17.7	-3.40	0.55
鉱工業生産指数(H27年=100)	102.2	105.2	2.94%	0.73
生産財生産指数(H27年=100)	99.2	96.6	-2.62%	-0.56
百貨店・スーパー販売額(%)	-3.6	-2.9	0.70	0.16
新車販売台数(台)	2,532	2,805	10.78%	1.65
投資財生産指数(H27年=100)	96.6	113.1	17.08%	2.01
建築着工床面積(非居住用)( $m^2$ )	18,775	6,356	-66.15%	-1.53
秋田空港利用者数(人)	46,570	62,338	33.86%	2.53
CI 一致指数(全体値)	75.8	80.0	4.2	



県内	県内経済情勢報告 財務省東北財務局 秋田財務事務所 令和4年1月分 令和4年1月25日公表	項目	内容					
		総括判断	新型コロナウイルス感染症の影響により、厳しい状況にあるものの、緩やかに持ち直しつつある					
		個人消費	新型コロナウイルス感染症の影響がみられるものの、緩やかに持ち直しつつある					
		生産活動	持ち直している					
		雇用情勢	緩やかに持ち直しつつある					
		設備投資	3年度は増加見込み					
		企業収益	3年度は増益見込み					
		企業の景況感	「下降」超幅が縮小					
		住宅建設	前年を上回っている					
	公共事業	前年度を下回っている						
秋田県内全国企業短期経済観測調査結果 日本銀行秋田支店 令和3年12月調査 令和3年12月13日公表	[業況判断D I]		3年	3年	4年			
	単位：%ポイント		9月	12月	変化幅	3月(予測)	変化幅	
	全産業		-10	0	10	-5	-5	
	製造業		-5	9	14	11	2	
非製造業		-11	-6	5	-14	-8		
東北	管内の経済動向 東北経済産業局 令和3年12月分 令和4年2月17日公表	<p>全体の動向：持ち直しの動きがみられる</p> <p>鉱工業生産：持ち直しの動きがみられる</p> <p>個人消費：持ち直しの動きがみられる</p> <p>住宅着工：持ち直しの動きがみられる</p> <p>公共投資：減少している</p> <p>設備投資：増加している</p> <p>雇用：一部に持ち直しの動きがみられる</p> <p>企業倒産：落ち着いた動きとなっている</p>						
	管内経済情勢報告 財務省東北財務局 令和4年1月分 令和4年1月25日公表	項目	内容					
総括判断		新型コロナウイルス感染症の影響により、厳しい状況にあるものの、持ち直しつつある						
個人消費		新型コロナウイルス感染症の影響がみられるものの、緩やかに持ち直している						
生産活動		持ち直している						
雇用情勢		新型コロナウイルス感染症の影響がみられるものの、緩やかに持ち直しつつある						
設備投資		3年度は増加見込み						
企業収益		3年度は増益見込み						
企業の景況感		「上昇」超に転じている						
住宅建設		前年を上回っている						
公共事業		前年度を下回っている						
全国	月例経済報告 内閣府 令和4年2月 令和4年2月17日公表	<p>景気は、持ち直しの動きが続いているものの、新型コロナウイルス感染症による厳しい状況が残る中で、一部に弱さがみられる。</p> <p>個人消費：このところ持ち直しに足踏みがみられる</p> <p>設備投資：持ち直しの動きがみられる</p> <p>住宅建設：このところ弱含んでいる</p> <p>公共投資：高水準にあるものの、このところ弱含んでいる</p> <p>輸出：おおむね横ばいとなっている</p> <p>輸入：弱含んでいる</p> <p>貿易・サービス収支：赤字となっている</p> <p>生産：持ち直しの動きがみられる</p> <p>企業収益：感染症の影響が残る中で、非製造業の一部に弱さがみられるものの、持ち直している</p> <p>企業の業況判断：持ち直しの動きがみられる</p> <p>倒産件数：おおむね横ばいとなっている</p> <p>雇用情勢：感染症の影響が残る中で、引き続き弱い動きとなっているものの、求人等に持ち直しの動きもみられる</p> <p>国内企業物価：このところ緩やかに上昇している</p> <p>消費者物価：底堅さがみられる</p> <p>先行きについては、感染対策に万全を期し、経済社会活動を継続していく中で、各種政策の効果や海外経済の改善もあって、景気が持ち直していくことが期待される。ただし、感染拡大による影響や供給面での制約、原材料価格の動向による下振れリスクに十分注意する必要がある。また、金融資本市場の変動等の影響を注視する必要がある。</p>						
	企業短期経済観測調査結果 日本銀行調査統計局 令和3年12月調査分 令和3年12月13日公表	[業況判断D I]		〈大企業〉		〈中小企業〉		全規模合計
単位：%ポイント		製造業	非製造業	製造業	非製造業	全産業		
3年 / 9月		18	2	-3	-10	-2		
3年 / 12月		18	9	-1	-4	2		
変化幅		0	7	2	6	4		